

はじめに

「ていねいな保健統計学」を手にとっただき、ありがとうございます。本書は**統計学の土台となる考え方の道筋を「ていねい」に示した教科書**です。

著者らは医療系大学で保健統計学の教育に携わっています。教育を行っていくなかで感じたことは、統計学の入門書とされる本の多くは、一定レベル以上の数学的センス、つまり数式の意味や使用法を適切に読み取る力を要求しているため、初学者には難しい場合が多いということです。そのため、**数式をできるだけ使わず、統計学の基本的な考え方を伝える本**をまとめようと考えました。

本書では、基礎的な内容の解説に多くのページを割いています。特にデータの中心を表わす平均値、バラツキを示す標準偏差などについてしっかり理解することで、全体的な理解が深まると考え、これらの解説に注力しました。数学を苦手を感じる方にもわかりやすい内容になったと自負しています。

また、保健統計学は「公衆衛生学」、「疫学」、「看護研究」など多くの科目にかかわる学問です。これらの授業にも活用できる教科書とするため、**看護師・保健師国家試験に対応**させました。本書を読み進めていくことで、過去の国家試験問題と少し異なる問題に対しても理論的に正解の理由を説明できるようになります。

本書は、多くの方々のご尽力により出版に至ることができました。最後に、企画営業担当の大山康之様、企画担当の冨塚達也様、制作担当の中川由香様、内容の理解を後押しするイラストを作成していただいた足達 智様、刊行にあたって携わってくださったすべての関係者の方々にこの場をお借りして心より感謝の意を表します。本書が、看護師・保健師をめざす学生はもちろんのこと、分野や目標にかかわらず、統計学を必要とするすべての方の力となることを、ここ埼玉県毛呂山の地より祈っております。

2018年9月

白戸亮吉
鈴木研太